

KIDSについて

KIDS

Disaster Prevention School

組織名称

京大防災教育の会

Kyoto university Institution of Disaster prevention School

ネーミングの由来

未来を担う子供たちKIDSに災害や防災の知識を身につけてもらい、その知識をさらに次の代の子供たちKIDSへと受け継いでいってもらい、災害に対する知識のバトンを途絶えさせないようにする

主な活動内容

- ・出前防災教室
- ・成果報告会
- ・勉強会



これまでの活動

出前防災教室

- 2005年 9月: インドネシア・スマトラ島(アチェ・メダン)の小学校・4校
- 12月: 愛知県瀬戸市立萩山小学校
- 2006年 2月: 京都市立音羽川小学校
- 6月: 愛知県名古屋市立楠小学校
- 9月: インドネシア(ジョグジャカルタ・アチェ)の小学校・5校

成果報告会

- 2005年11月: 早稲田理工展
- 11月: 京都大学11月祭
- 2006年 1月: 兵庫県立舞子高等学校
震災メモリアル



KIDSに関するご質問・KIDSへのお問い合わせは
tokids2005@gmail.com までお気軽にどうぞ
URL: <http://kuoedp.run.butobi.net/>

出前防災教室について



●概要

国内外を問わず、主に小学生を対象として、防災に関する授業を行っています。

少人数授業の形態をとり、防災という取り付き難い内容を、いかに子供たちに分かり易く伝えられるかというのを目標にしています。

親近感のある授業で子供たちに授業内容を印象付けることによって、少しでも防災意識を向上させようというのがねらいです。

●教材の特徴

週1回のミーティングで、どんな教材が最も子供たちに伝わりやすいかというのを考えています。

授業で用いる教材は手作りです。模造紙の色塗りや模型作成など、全てKIDSメンバーで行っています。

また、教材に**独自の地域性**を持たせるため、教材作成の前に打ち合わせも兼ねて現地周辺の下見・調



模型作成の様子

手書きの模造紙



●授業の内容

以下の3つの内容を軸に授業を展開します。



①地震・津波発生メカニズムの学習

手作りの仕掛け模造紙による説明



②地震対処法・予防の学習

手作り小型模型による体験授業



③被災体験談による災害の恐さの再認識

スクリーンによるスライド解説

●授業実施までの流れ

(過去の例)

- ・準備期間は2ヶ月程度
- 2ヶ月前～:小学校側と打ち合わせ
(日程・時間など)
現地の下見
- 1ヶ月前～:授業プログラムの確定
教材作成
- 1週間前～:リハーサル

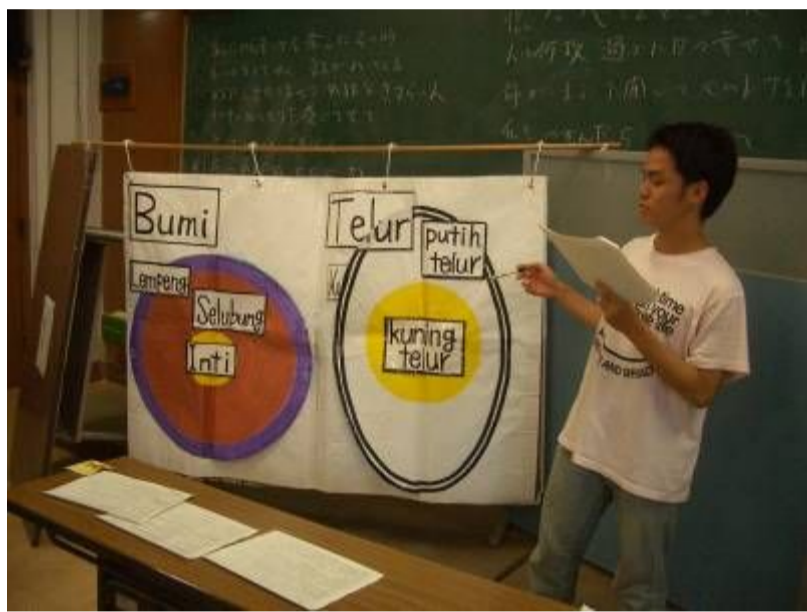
最近の活動について

●インドネシアへ

今月の9月13、14日にジョグジャカルタで、15～17日にバンダアチェの小学校にて防災教育活動を行いました。

●活動写真

●使用教材例



対象人数が多いことが予想されたので、模造紙2枚を合わせたものを1ページとする、かなり大きめの教材を作った



現地で人気の「ドラえもん」を使って、防災を題材とした紙芝居を作った



教材は全てインドネシア語に訳した

●2006年度・今後の活動予定

10月8日:京都学生祭典@平安神宮

内容:活動報告・展示及び軽食コーナー

11月18日:防災教室@京大会館

内容:左京区民の親子を対象とした小型模型の作成・起震車体験

11月23～26日:京都大学11月祭@京都大学

内容:活動報告・展示及びカフェ企画(未定)